

二〇一九年九月一日(参加者三名)

車窓いま伴走のごと 鱗雲

董 雨

広々と城址の遺構 いわし雲

なつき

朝顔の格子に絡む 古都の路地

智恵子

退院日窓 いつぱいに 鱗雲

素 秀

朝窓のカーテン 繰れば いわし雲

はく子

さながらに 鹿の子絞りや 鱗雲

菜 々

海峡は タンカー 銀座 鱗雲

よう子

鱗雲背伸びして 干す シーツかな

よう子

古戦場跡に 大の字 鱗雲

隆 松

三輪山を越え 大宇陀へ 鱗雲

明日香

朝顔や明日 咲く花のねじ 緩む

はく子

WEB句会みのる選・二〇一九年九月一日

いわし雲 高々と 打つサーブ 球

ぼんこ

発電の風車 ゆるりといわし 雲

やよい

パラボラが 押出してをる 鱗雲

うつぎ

故郷の空へと 続く 鱗雲

せいじ

鱗雲見て 落ち着かぬ 旅心

もとこ